

平成 25 年度第 1 回成田市総合計画審議会会議録

1 開催日時

平成 25 年 10 月 8 日（火） 午後 1 時 30 分～2 時 45 分

2 開催場所

成田市花崎町 760 番地

成田市役所 6 階 中会議室

3 出席者

(委員)

櫻井会長、高木副会長、新井委員、伊藤委員、小梶委員、清水委員

野平委員、小野委員、竹内委員、平野委員、山崎委員

(事務局)

企画政策部 渡部部長

企画政策課 宮田課長、木下課長補佐、金光係長、成毛副主査、長野主任主事

4 議事（要旨）

(1) 総合 5 か年計画 2011 のローリング内容について

総合 5 か年計画 2011 のローリング内容について、概要を説明した。

(2) その他

今後の予定について連絡した。

5 質疑等

□トイレの改修は体育館も含まれるのか。

→含んでいる。小学校から順次、全ての和式トイレを洋式に変更していく。

□中台体育館の卓球場の下がコンクリートになっているなど、不便なところがある。スポーツ施設の設備見直しをお願いしたい。

→担当課に伝える。

□公津の杜や参道近辺は発展しているが、そうでないところも多い。地域のバランスを考えて欲しい。

→28 年度からの総合計画を作成するにあたって、検討してまいりたい。

□一般会計予算が例年 600 億前後で推移しているが、27 年度は 570 億と少なくなっている。これは何故か。

→平成 23 年～26 年までは、それぞれの年において大規模事業が展開されていたが、26 年である程度大規模事業が終了を迎えるため、予算規模が縮小した。

□大学誘致場所は、なぜ公津の杜になったのか。

→当初、市の所有地を候補地として提出したが、大学生を呼び込むにあたっての利便性を考慮した、大学側の希望で公津の杜になった。

□京成成田駅東口のバリアフリー化について、足元が不自由な方や下のホテルに用のある方もいるので、非常にありがたい。ただ、工事の期間中の利便性の確保をお願いしたい。

→担当課に伝える。

□平成 27 年度以降は、基金は積み立てられていくのか。

→国の動向や、税収によっても変わってくるので、今現在ははっきりとは申し上げられない。額の量も大事だが、有効活用することも大事だと考えている。

□誘致する大学の規模はどのくらいのものなのか。

→全キャンパスを合計すると、6,700 人の生徒が在籍しており、成田のキャンパスは 5 学科 4 学年で 1,360 人が定員となる予定である。

□医療系大学を誘致するというのは、医学部の設置を期待してのことか。

→国際医療福祉大学にない学部は医学部だけであり、大学側も設置を希望している。

□成田で完結できる医学部を希望しているのか。

→6 年間成田市で学んでもらうのはもちろんのこと、その後の就職先も成田市内でしていただけるよう努めてまいりたい。

□大学誘致に関してパブリックコメントを実施しているが、意見は反映されるのか。

→今回のパブリックコメントは、大学誘致に関する内容ならどのような意見でも受け付ける。意見にもよるが、可能な内容については反映させたいと考えている。

6 傍聴

1 名

7 次回開催日時(予定)

11 月中に第 2 回を開催予定